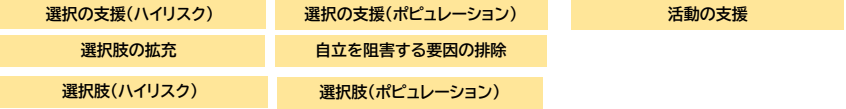


介護予防事業ロジックモデル(案)

視点	
・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で設定した地域支援事業の範囲内である ・事業の効率性が保たれている ・事業を実施するための人材が確保できている(高齢者の活躍の機会創出の視点をもっている)	インプット
・選択肢 ・選択肢の拡充 ・選択の支援 (ポピュレーション・ハイリスク) ・阻害要因の排除	アプローチ
各事業名	事業名
【年齢層】 高齢者人口：65～74歳、75～84歳、85歳～ 【健康への関心】 関心層、中間層(年齢的に気になり出した、きっかけがない)、無関心層 【健康状態(フレイル)】 フレイル、プレフレイル、ノンフレイル 【健康状態(生活習慣病当)】 元氣、健康リスク者、要医療者、健康状態不明者	対象
・地域の実情を踏まえた事業の実施 ・アウトカムを踏まえた事業の実施	アクティビティ
・事業を適切に実施するための体制、仕組みを構築している	ストラクチャー(ツール)
	ストラクチャー(会議)
・個人・地域に向けて適切な働きかけをしている ・必要な情報を取得することができる ・地域の実情を把握している ・事業を実施するための活動を行っている ・関係者と連携している	プロセス①
	プロセス②
	プロセス③
【個人】 地域の活動に参加できている/フレイルを理解し介護予防活動を行っている 【地域】 地域に多様なサービス・活動がある/活動に参加する機会がある/活躍する機会がある	アウトプット
【個人】 自分で選択できている/適切なサービス・活動が利用できる/必要なサービス・活動を選択しながらやりたいことを実現している(重度化防止)/ 生きがいを持っている /相談先を知っている 【地域】 高齢者が役割を持って活躍することができる/行きたい時に行ける場所がある/つながり続けたい場所がある/馴染み場所に行き続けることができる	初期アウトカム①
	初期アウトカム②
【個人】 フレイルのリスクが低下している(介護予防)/困りごとを相談することができる 【地域】 人とのつながりがある/居場所がある	中間アウトカム
基本目標：健康寿命延伸 →要介護者の抑制+QOL向上、ウェルビーイングの向上 ～状態像～ 高齢者が地域でいつまでも幸福感をもって暮らしている 【個人】 ①自分で選択して生活している、それぞれが大切にしていることを続けられる、得意なこと活かして活躍し、役割をもって生活している＝充実感を持っている ②安心して暮らしている＝孤独や不安を感じていない 【地域】 支え合いのある地域 ①人とつながりを持つことのできる地域＝自分の居場所がある、見守りのある地域 ②高齢者が活躍できる地域＝役割が期待されている地域 ③高齢者が生きがいを持っている地域＝選択肢が多い地域	最終アウトカム
【行政運営】 歳出適正化/介護資源の確保 【個人】 孤独死の減少 【地域づくり】 地域共生社会の実現⇔地域包括ケアシステムの構築	インパクト

予算 人員

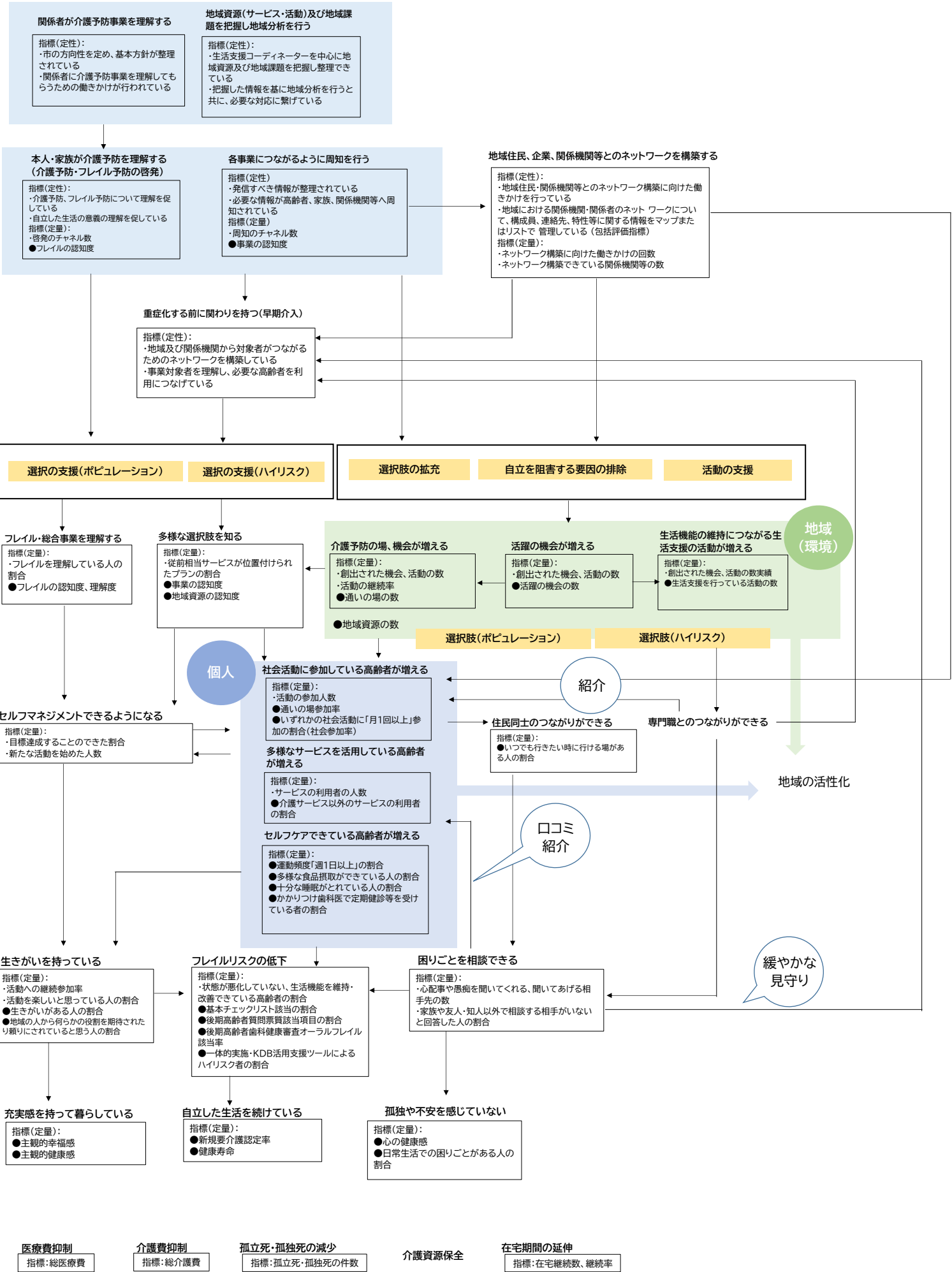


事業毎に構成

高齢者が地域で自立した生活を続けることができるよう介護予防事業を実施する

フレイル状態に早期に気づき、適切なサービスや活動を選択することで元の暮らしに戻るための支援を行う

事業毎に構成



介護予防事業ロジックモデル(案)			事業毎の評価(1年毎)		地域全体の評価(3年毎)	
	項目	定性評価	定量評価	定量指標の取得方法	定量評価	定量指標の取得方法
プロセス①	関係者が介護予防事業を理解する	・市の方向性を定め、基本方針が整理されている ・関係者に介護予防事業を理解してもらうための働きかけが行われている	—	—	—	—
	地域資源(サービス・活動)及び地域課題を把握し地域分析を行う	・生活支援コーディネーターを中心に地域資源及び地域課題を把握し整理できている ・把握した情報を基に地域分析を行うと共に、必要に対応に繋げている	—	—	—	—
プロセス②	本人・家族が介護予防を理解する(介護予防・フレイル予防の啓発)	・介護予防、フレイル予防について理解を促している ・自立した生活の意義の理解を促している	・啓発のチャネル数	実績	●フレイルの認知度	ニーズ調査
	各事業につながるように周知を行う	・発信すべき情報が整理されている ・必要な情報が高齢者、家族、関係機関等へ周知されている	・周知のチャネル数	実績	●事業の認知度	ニーズ調査
	地域住民、企業、関係機関等とのネットワークを構築する	・地域住民・関係機関等とのネットワーク構築に向けた働きかけを行っている ・地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理している(包括評価指標)	・ネットワーク構築に向けた働きかけの回数 ・ネットワーク構築できている関係機関等の数	実績 ※取得方法未定	●ネットワーク構築できている関係機関等の数	※取得方法未定
プロセス③	重症化する前に関わりを持つ(早期介入)	・地域及び関係機関から対象者がつながるためのネットワークを構築している ・事業対象者を理解し、必要な高齢者を利用につなげている	—	—	—	—

			事業毎の評価(1年毎)		地域全体の評価(3年毎)	
	項目	定性評価	定量評価	定量指標の取得方法	定量評価	定量指標の取得方法
アウトプット	各事業の実施		実施回数	実績	—	—
初期アウトカム①	フレイル・総合事業を理解する		・フレイルを理解している人の割合	アンケート	●フレイルの認知度、理解度	ニーズ調査 ※健康推進課調査
	多様な選択肢を知る		・従前相当サービスが位置付けられたプランの割合	※取得方法未定	●事業の認知度 ●地域資源の認知度 ●従前相当サービスが位置付けられたプランの割合	※取得方法未定
	介護予防の場、機会が増える		・創出された機会、活動の数 ・活動の継続率	実績	●通いの場の数	・地域資源把握シート ・国調査回答
	活躍の機会が増える		・創出された機会、活動の数	実績	●活躍の機会の数	※取得方法未定
	生活機能の維持につながる生活支援の活動が増える		・創出された機会、活動の数	実績	●生活支援を行っている活動の数	地域資源把握シート
初期アウトカム②	セルフマネジメントができるようになる		・目標達成することのできた割合(ハイリスク) ・新たな活動を始めた人数(ポピュレーション)	実績	—	—
	社会活動に参加している高齢者が増える		・活動の参加人数	—	●通いの場参加率 ●いずれかの社会活動に「月1回以上」参加の割合(社会参加率)	・国調査回答 ・ニーズ調査
	多様なサービスを活用している高齢者が増える		・サービスの利用者の人数	実績	●介護サービス以外のサービスの利用者の割合	※取得方法未定
	セルフケアできている高齢者が増える		※取得方法未定	※取得方法未定	●運動頻度「週1日以上」の割合 ●多様な食品摂取ができている人の割合 ●十分な睡眠がとれている人の割合 ●かかりつけ歯科医で定期健診等を受けている者の割合	※取得方法未定 ※健康推進課調査
	住民同士のつながりができる		※取得方法未定	※取得方法未定	●いつでも行きたい時に行ける場がある人の割合	※取得方法未定
	専門職とのつながりができる		—	—	—	—
中間アウトカム	生きがいを持っている		・活動への継続参加率 ・活動を楽しんでいる人の割合	・実績 ・アンケート	●生きがいがある人の割合 ●地域の人から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思う人の割合	※取得方法未定
	フレイルリスクの低下		状態が悪化していない、生活機能を維持・改善できている高齢者の割合	・実績 ・アンケート	●基本チェックリスト該当の割合 ●後期高齢者質問票該当項目の割合 ●後期高齢者歯科健康審査オールフレイル該当率 ●一体的実施、KDB活用支援ツールによるハイリスク者の割合	・ニーズ調査 ・KDB
	困りごとを相談できる		※取得方法未定	※取得方法未定	●心配事や患病を聞いてくれる、聞いてあげる相手先の数 ●家族や友人・知人以外で相談する相手がいなくて回答した人の割合	ニーズ調査
最終アウトカム	充実感を持って暮らしている		—	—	●主観的幸福感 ●主観的健康感	ニーズ調査 ※健康推進課調査
	自立した生活を続けている		—	—	新規要介護認定率	※取得方法未定
	孤独や不安を感じていない		—	—	●心の健康感 ●日常生活での困りごとがある人の割合	ニーズ調査